

1 決算の概況(一般・特別会計)

(1) 決算の状況 (資料1 P68~69)

令和4年度の一般会計及び4つの特別会計(以下「一般・特別会計」という。)の決算額の合計は、収入済額839億9,476万円、支出済額808億378万円であり、令和3年度と比べて収入済額が23億1,881万円(2.8%)、支出済額が35億2,646万円(4.6%)それぞれ増加している。

収入済額から支出済額を差し引いた形式収支は31億9,098万円の黒字であり、形式収支から翌年度繰越財源7億9,450万円を差し引いた実質収支は23億9,647万円の黒字である。

この実質収支から令和3年度の実質収支27億269万円を差し引いた単年度収支は3億622万円の赤字であり、これに基金純積立(取崩)額及び地方債繰上償還金を加えた実質単年度収支は23億2,564万円の黒字である。

第1表 決算の状況

(単位:千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
収入済額(A)	83,994,766	81,675,947	2,318,819	2.8
一般会計	64,898,280	62,714,215	2,184,065	3.5
特別会計	19,096,486	18,961,732	134,754	0.7
支出済額(B)	80,803,784	77,277,321	3,526,463	4.6
一般会計	61,965,774	58,550,412	3,415,362	5.8
特別会計	18,838,010	18,726,909	111,101	0.6
形式収支(C=A-B)	3,190,983	4,398,626	△1,207,644	△27.5
一般会計	2,932,506	4,163,803	△1,231,297	△29.6
特別会計	258,477	234,823	23,653	10.1
翌年度繰越財源(D)	794,505	1,695,929	△901,424	△53.2
一般会計	794,505	1,695,929	△901,424	△53.2
特別会計	0	0	0	—
実質収支(E=C-D)	2,396,478	2,702,697	△306,220	△11.3
一般会計	2,138,001	2,467,874	△329,873	△13.4
特別会計	258,477	234,823	23,653	10.1
単年度収支(F=E-前年度のE)	△306,220	1,580,287	△1,886,507	△119.4
一般会計	△329,873	1,513,288	△1,843,161	△121.8
特別会計	23,653	66,999	△43,346	△64.7
財政調整基金純積立(取崩)額(G)	575,828	477,778	98,050	20.5
各特別会計基金純積立(取崩)額(H)	175,425	149,779	25,646	17.1
地方債繰上償還金(I)	1,880,615	408,284	1,472,331	360.6
実質単年度収支(F+G+H+I)	2,325,649	2,616,128	△290,480	△11.1

(注) 「財政調整基金純積立(取崩)額」とは、同基金の積立額と取崩額(出納整理期間中の積立額又は取崩額を含む。)の差引額をいう。

(2) 歳入決算の状況 (資料 2 P70~71)

一般・特別会計の予算現額 869 億 7,823 万円に対し、調定額は 864 億 9,681 万円、収入済額は 839 億 9,476 万円である。収入済額は、令和 3 年度と比べて 23 億 1,881 万円 (2.8%) 増加し、予算比は 2.8 ポイント上昇している。

また、収入済額の過去 5 年間の推移は、第 1 図のとおりである。

第2表 歳入決算の状況

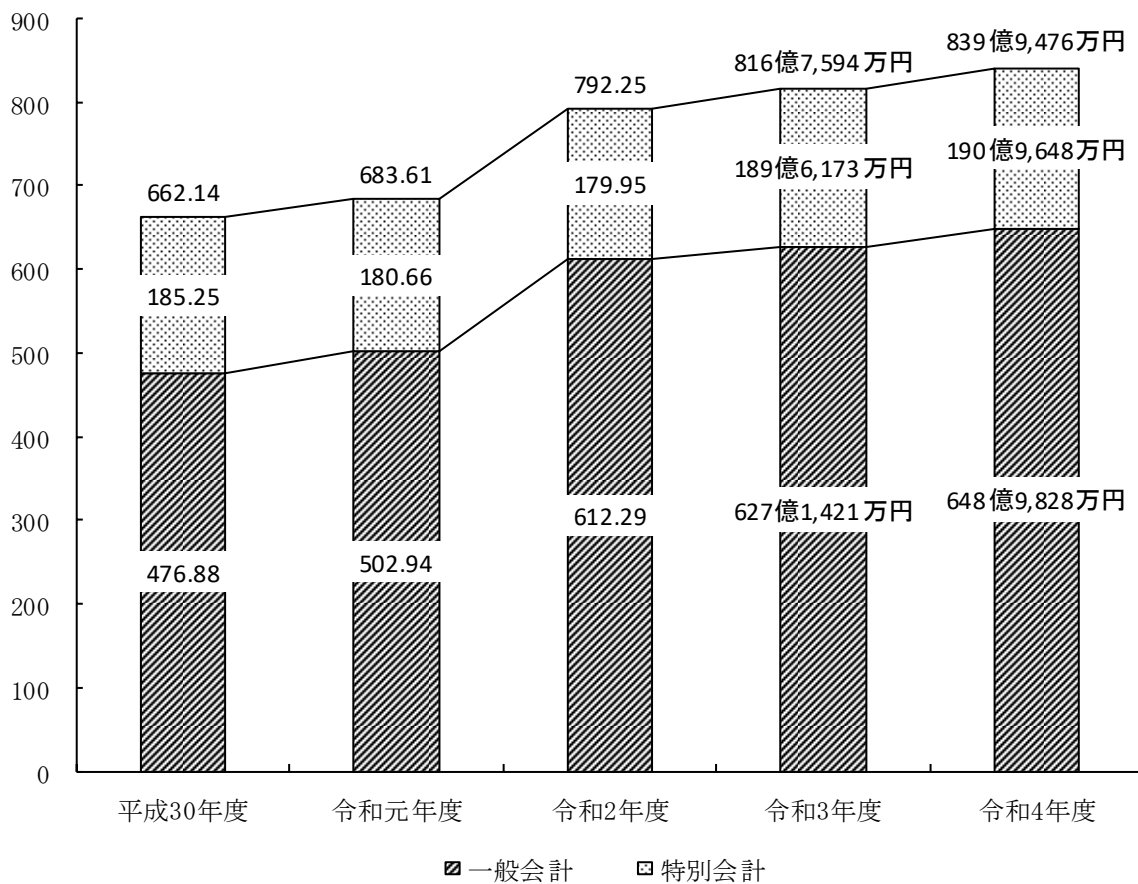
(単位：千円、%)

区 分	予算現額	調定額 (A)		収入済額 (B)		不納欠損額		収入未済額		収納率 (B/A)
			予算比		予算比		予算比		予算比	
令和 4 年度	86,978,236	86,496,810	99.4	83,994,766	96.6	64,591	0.1	2,442,747	2.8	97.1
令和 3 年度	87,050,921	86,689,721	99.6	81,675,947	93.8	47,343	0.1	4,973,226	5.7	94.2
増 減	△ 72,685	△ 192,912	△ 0.2	2,318,819	2.8	17,248	0.0	△ 2,530,479	△ 2.9	2.9

(注)収入済額のうちには、令和4年度5,294千円、令和3年度6,795千円の還付未済額を含む。

(億円)

第1図 収入済額の推移



(3) 歳出決算の状況

ア 決算の状況（資料 6 P82～83）

一般・特別会計の予算現額 869 億 7,823 万円に対し、支出済額は、808 億 378 万円であり、令和 3 年度と比べて 35 億 2,646 万円(4.6%)増加し、予算比は 4.1 ポイント上昇している。

また、支出済額の過去 5 年間の推移は、第 2 図のとおりである。

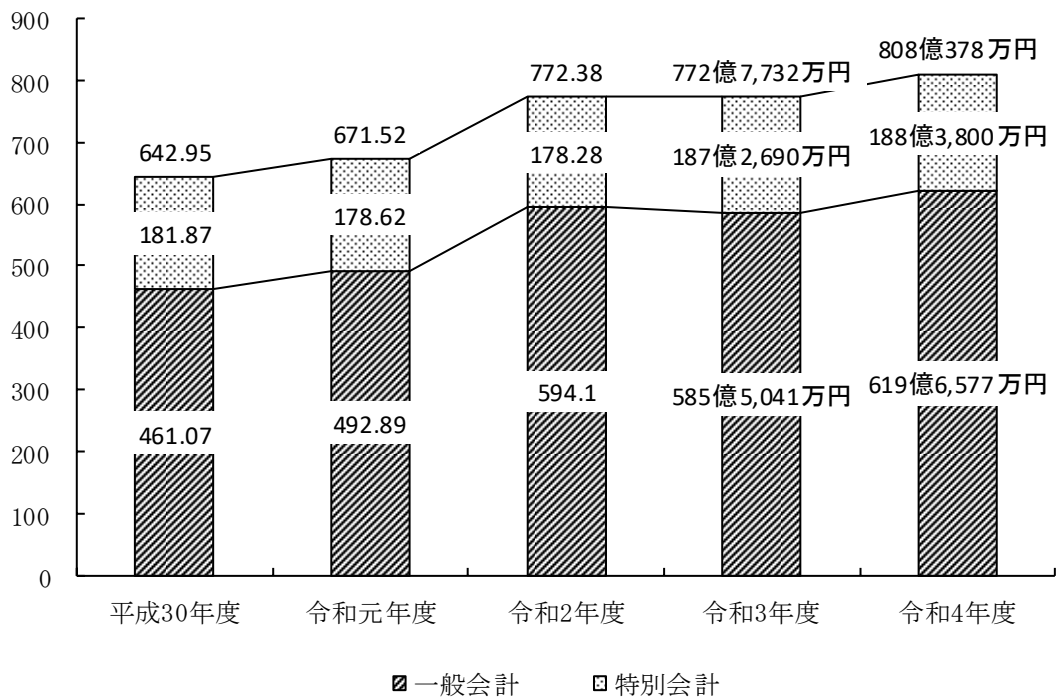
第3表 歳出決算の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		
			予算比	予算比	予算比	予算比	
令和 4 年度	86,978,236	80,803,784	92.9	2,584,686	3.0	3,589,766	4.1
令和 3 年度	87,050,921	77,277,321	88.8	6,024,409	6.9	3,749,191	4.3
増 減	△ 72,685	3,526,463	4.1	△ 3,439,723	△ 3.9	△ 159,425	△ 0.2

(億円)

第2図 支出済額の推移



イ 翌年度繰越額の状況（資料 9 P90～P91）

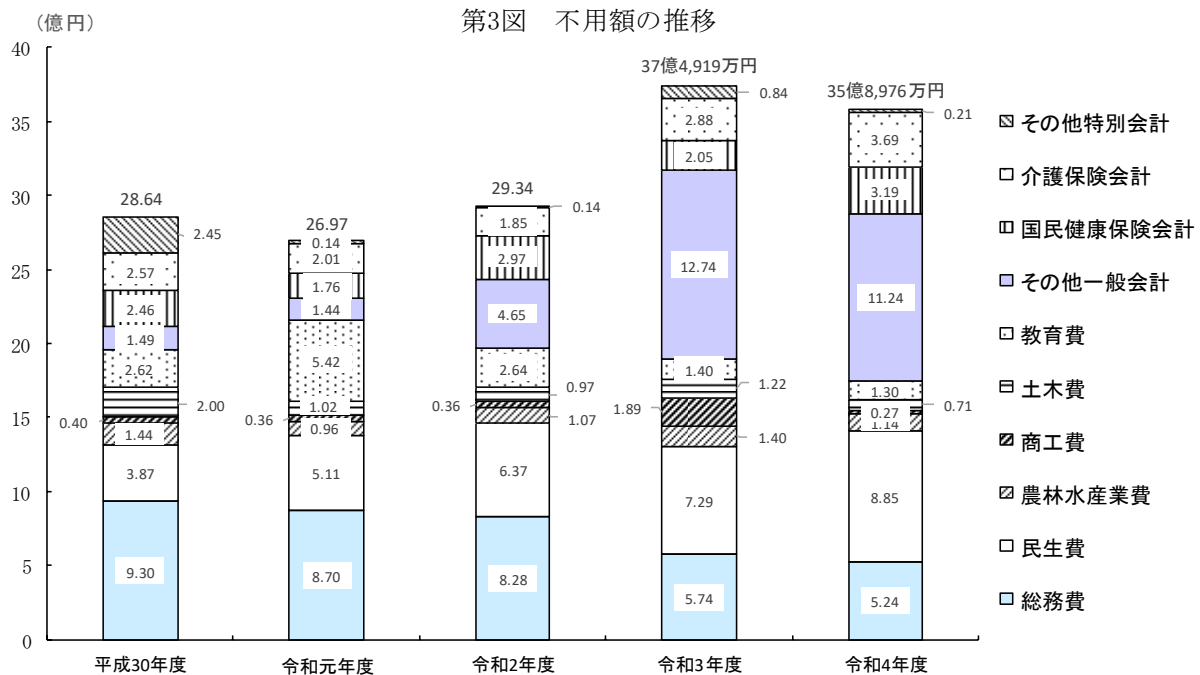
翌年度繰越額は 25 億 8,468 万円であり、令和 3 年度と比べて 34 億 3,972 万円(57.1%)減少している。

繰越しの主なものは、河川改良事業(よし川都市基盤河川改修事業)(3 億 4,400 万円)、新型コロナウイルスワクチン接種関連事業(2 億 7,905 万円)、農林施設災害復旧事業(2 億 5,268 万円)、「おうちでごはん」おこめ券配布事業(1 億 8,000 万円)などである。

ウ 不用額の状況（資料 9 P90～P91）

不用額は、35 億 8,976 万円であり、令和 3 年度と比べて 1 億 5,942 万円(4.3%)減少している。

一般会計では民生費が 8 億 8,599 万円(電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業費の執行残等)と最も多く、次いで、その他一般会計のうち災害復旧費が 7 億 1,579 万円(農林施設災害復旧事業費の執行残等)となっており、特別会計では介護保険事業特別会計が 3 億 6,978 万円(保険給付費の執行残等)と最も多く、次いで国民健康保険事業特別会計が 3 億 1,958 万円(保険給付費の執行残等)となっている。



(注) 介護保険事業会計は、保険事業勘定と介護サービス事業勘定の合計である。

エ 不用額が生じた主な理由

事務事業別で 500 万円以上の不用額が生じているもののうち、不用額が生じた主な理由は「対象件数等が見込みを下回ったこと」であり、不用額に占める割合は 64.5%となっている。

第4表 不用額が生じた主な理由

区分		令和4年度	令和3年度	増減
事務事業別で500万円以上の不用額	執行残			
	経費縮減	0.2	0.5	△ 0.3
	入札(見積り)執行残	4.6	4.8	△ 0.2
	国・県補助採択減	0.9	4.1	△ 3.2
	対象件数等が見込みを下回ったこと	64.5	58.7	5.8
	うち繰出金の残	0.3	0.6	△ 0.3
	その他	64.2	58.1	6.1
	その他	—	—	—
	小計 (A)	70.2	68.0	2.2
	未執行残 (B)	17.4	16.6	0.8
計 (C=A+B)	87.7	84.6	3.1	
事務事業別で500万円未満の不用額 (D)	12.3	15.4	△ 3.1	
合計 (C+D)	100.0	100.0	—	